

横中診療科インフォメーション

— D to D — (vol.1)

* 診療科紹介

外科 (一般消化器外科、乳腺外科、化学療法、栄養療法)



外科主任部長
三松謙司

乳腺外科部長
久保井洋一

外科医員
吹野信忠

外科医員
木田和利

* 横浜中央病院外科とは

当院外科は、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本乳癌学会の認定施設で、日本静脈経腸栄養学会の Nutrition support team(NST)稼働認定施設です。医師は常勤医 4 名で、一般・消化器外科疾患と乳腺疾患を対象として診療を行っています。特に、胃癌、大腸癌、胆石症、鼠径経ヘルニア、虫垂炎などは腹腔鏡下手術を積極的に取り入れて低侵襲手術を行っています。また、食道や肝胆膵疾患などの大きな手術でも、出血を最小限に抑える手術をモットーとして取り組んでいます。周術期においては、患者さんの心も身体も早期に回復するためのエッセンスを盛り込んだクリニカルパスを採用しています。

化学療法は、2006 年 12 月に外来化学療法室が開設され、2011 年 6 月にはリニューアルされ、多くの患者さんにご利用頂いております。また、栄養サポートチーム (Nutrition support team (NST)) を組織し、術前・術後の栄養管理、胃瘻患者さんの栄養管理を行っています。乳腺疾患では、乳腺専門医が、診断のつきにくい DCIS から局所進行乳癌まで幅広く対応しています。手術は、患者さんの QOL を十分に考慮し、根治性、低侵襲、整容性の 3 点を心掛けて行っています。初診時に乳癌が疑わしい症例では、その日のうちにマンモグラフィー、超音波検査、細胞診を行い早期に診断できるようにしています。

手術や化学療法、栄養治療が必要な消化器・乳腺疾患の患者さんの御紹介を宜しくお願い致します。

医師専門分野一覧

ご紹介時には下記の一覧表をご参照のうえ、よろしくお願ひいたします。

医師名	役職	専門分野
みまつけんし 三松謙司	外科主任部長	食道・胃外科、内視鏡外科
くほいよういち 久保井洋一	乳腺外科部長	乳腺外科
ふきのぶただ 吹野信忠	外科医員	肝・胆・膵外科
きだかずとし 木田和利	外科医員	大腸・肛門外科

外来担当表

	月	火	水	木	金
外科・消化器外科	木田 吹野	吹野 久保井	木田 三松	吹野 久保井	吹野(1, 3, 5週) 木田(2, 4週) 三松
乳腺外科		久保井		久保井	
外科系午後救急	木田	三松	久保井	吹野	木田

(平成27年10月現在)

当院外科への紹介方法

当院外科はご紹介時に予めご予約の必要はございません。診療情報提供書をお渡しいただき、患者様が下記診療受付時間内に受付していただく運びとなっておりますので、よろしくお願ひいたします。

なお、長い待ち時間にならないよう配慮させていただきます。

診療受付時間：平日 午前7時50分～午前11時30分

* 外科の特徴

消化器疾患では、食道から肛門に至る全消化管領域と肝胆膵領域を対象として、拡大手術から鏡視下手術による低侵襲手術まで多彩な手術を行っています。特に、鏡視下手術は、食道良性疾患（食道裂孔ヘルニア、アカラシア）、胃癌、大腸癌、胆石症、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニアなどに行い、患者さんにとって傷の小さい、疼痛の少ない、身体に楽な手術を心がけています。乳腺疾患では、乳がん検診を積極的に行い、乳癌手術では進行癌であっても術前化学療法を行い、乳房温存療法を積極的に行っています。

消化器癌や乳癌に対する化学療法では、外来化学療法を行い、患者さんの入院負担を軽減しています。また、手術や化学療法で体重減少や低栄養となった患者さんに対しては、NSTが中心となって栄養管理を行っています。さらに、手術療法以外にも、ステント留置（食道ステント、胆管ステントなど）、胃瘻造設、緩和ケアも行っています。このように、癌治療においては、手術だけではなく、化学療法、栄養療法、緩和ケアも充実させて、手術—化学療法—緩和ケアとシームレスな治療を行っています。

当院外科の最も特徴的な点は、消化器癌に対する腹腔鏡手術を中心とした外科治療を行っていること、毎日が手術日のため、手術までの待機期間が短いこと、患者さんが術後経過を理解できるクリニカルパスの導入によって、退院の目安が明確で、入院期間が短いことなどが挙げられます。術後平均入院日数は、鼠径ヘルニア 2 日、胆石症 4 日、胃癌 12 日、大腸癌 10 日となっています。最近ではさらに短縮されています。高齢の患者さんなどで心と身体の回復が退院と判断されない場合には、栄養管理やリハビリテーションを中心として加療を継続しています。

消化器疾患や乳腺疾患で外科的加療が適応の患者さんがいらっしゃいましたら、是非ともご紹介を宜しくお願い致します。

【診療実績】

■ 外来統計 ■（平成26年4月～平成27年3月）

外来患者数：7038人/年（初診505人/年）

乳癌検診数：1920人/年

■ 手術統計 ■（平成26年4月～平成27年3月）

食道・胃・十二指腸・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38 例（鏡視下3例）

小腸・虫垂・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42 例（鏡視下13例）

結腸・直腸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45 例（鏡視下7例）

肝・胆・膵・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 例

胆道結石・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61 例（鏡視下41例）

鼠径ヘルニア手術・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63 例（鏡視下1例）

乳腺疾患・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26 例

その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40 例

合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 322 例（鏡視下65例含む）

注目ドクター



〔医師名〕

ふきの のぶただ
吹野 信忠

〔診療科・役職〕

外科医員

〔専門とする領域〕

一般消化器外科、特に肝・胆・膵領域

〔コメント〕

地域の開業医の皆様方のご支援の下、ここまで成長する事が出来ました。この場をかりて御礼申し上げます。この地域の弱点である **Speedy** な対応を目指して行きますので、どうぞ末永くよろしく願い申し上げます。

〔三松主任部長より〕

当院の臨床研修医から、外科医を目指し、横中外科に入門した卒業後 8 年目の“熱い男”です。肝・胆・膵領域を専門とし、日々精進しています。最近、入籍をすませ、ますます飛ぶ鳥を落とす勢いで活躍中です。

横中の吹野信忠を宜しく願いいたします。

（文責： 三松 謙司 ）

おわりに・・・

当院の医師、特色を少しでも皆様に知っていただきたく発行する運びとなりました。サブタイトル「- D to D -」はドクターからドクターへのメッセージを意味しており、より良い関係を構築したいとの願いを込めておりますので、受取っていただけると幸いです。また、今後については、当面、毎月発行する予定ですので、乞うご期待ください！

地域ケアサービスセンター長 大岩功治



独立行政法人 地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization
JCHO (ジェイコー)
横浜中央病院
Yokohama Chuo Hospital

発行年月日 2015年10月1日
発行編集 地域ケアサービスセンター
TEL.045-681-9534 Fax.045-681-9542
e-mail: chiikirenkei@yokohama.jcho.go.jp
URL: <http://www.yokohama.jcho.go.jp>